

金曜 ライフ・楽しむ

シニア世代を応援するページです

わたし色

生活情報誌「悠悠と。」

編集長・真鍋康利さん



懇話のことで、実際の音や様態を心象模写し、言葉にしたものです。フランス語の「オノマトペ」が元だと言われていますが、語源は古代ギリシア語だそうです。ワンワン、ニャンニャンといった動物の鳴き声のほか、人の心模様や感情などを表す擬態語が多いことが日本語の特徴のようです。普段何げなく口にしていますが、今意識して文字にしてみると、たくさんあるのを実感します。

今年1年、キラキラ輝けるか、ハラハラ、イライラさせられるか、一体どんな年になるのでしょうか。ボチボチでもいいので穏やかにニコニコ暮らしたいですね。しかし、シニアが喜びも心配もないのに、ただドキドキが続くのは危険です。早めに心臓の具合を診てもらいましょう。

あけましておめでとうございます。札幌は例年になく雪が少なく、ヌクヌクした部屋でマッタリとした新年を迎えられた方も多いと思います。しかし、一冬の降雪量は結局毎年ドッコイドッコイと聞くので、この後、ドカッと大雪に見舞われるのかと少し心配です。そしてまた、雪かきが待っています。

ゴロゴロ、ダラダラした正月モードから、早くキビキビした日常に戻りましょう。それに雪が少なくとも路面はツルツル、テカテカ、どうか転倒にご注意ください。

○ ○ ○ ○
今年には東京オリンピック・パラリンピックの年、ワクワクしますね。突然札幌も登場してビックリしましたが、炎天下でのマラソンでフラフラになる選手を見るのもきついで、少しでもヒンヤリした場所への移転はやむを得ないのかもしれない。しかし、ワザワザ東京大会と銘打っているのですから、三多摩地区や避暑地で有名な軽井沢など少なくとも首都圏や周辺が望ましいのでは。駅伝でおなじみの箱根の山登りはいかがですか。東京から近く、宿泊先にも困らず、選手も少しはノンビリできるはず。テレビなどで「札幌が横取りし

た」「景観に魅力がない」などどズケズケ罵詈雑言を浴びせられるのはホトホト参り、モヤモヤしています。札幌の都心部周回コースをグルグル回りますが、その間の交通規制がどうなるかちょっとヒヤヒヤしています。緊急車両はどうするのでしょうか。三次救急指定病院は市の西方面にドッサリ固まっているので、東西に抜ける経路の確保は不可欠、人命第一なのでモタモタ、ノロノロしているわけにはいきません。東京には病院がソロソロ、経験や実績も豊富ですが、札幌の準備がバッチリか不安です。ところで「オノマトペ」ってご存じですか。擬音語、擬